

多文化共生を楽しめるまちづくり ～ 横浜・霧が丘団地～

誰もが互いに尊重し合いながら暮らすことができる社会を実現するためには、一人ひとりが地域住民として、互いの多様な文化的・社会的背景の違いを理解することが大切です。この「多文化共生社会」を実現するため、地域における課題や市民団体の活動への認識を深めていただくことができるフィールドワークを行います！

<座学編> インド人集住地区のいまと多文化共生

日時： 2021年 7月14日（水） 18:30～20:00

終了しました

形式： オンライン（ZOOM） ※前日までに参加用 URL をお送りします。

講師： 根本 壮太郎さん（ジャパンハウジング(株) 取締役会長）

参加費： 無料

対象者： 神奈川県内に在住・在勤・在学の方

定員： 30名

※申込〆切：7月12日（月）



根本壮太郎さん

<現地視察編> 多文化共生をともに楽しむためにできること

日時： 2021年 ~~7月24日~~（土） 14:00～15:00

9月18日

オンラインに変更

~~会場： 横浜市緑区・霧が丘団地~~

案内役： 霧が丘インターナショナルコミュニティのみなさん

参加費： 無料

対象者： 神奈川県内に在住・在勤・在学の方

~~定員： 30名~~

~~※申込〆切：7月12日（月）~~



レガさん



アリブさん



野場さん

~~※現地視察編は、7月14日の座学編を受講された方のみご参加いただけます。~~

~~※新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン形式に変更となる場合があります。~~

横浜市・緑区霧が丘団地について



◎霧が丘団地は、UR 都市機構（旧住宅・都市整備公団）が 1981 年に建築し、約 850 戸の賃貸住宅がある。

◎横浜市が団地の隣地にある旧霧が丘第 3 小学校（現・複合施設「霧の里」）の一部をインディアンターナショナルスクールインジャパンに貸与し、同校の横浜校が 2009 年 4 月に開校された。

◎開校に伴い、インド系住民が増加するようになり、現在、霧が丘インターナショナルコミュニティを中心に、多文化共生のための様々なイベントが開催されている。

座学編 講師プロフィール

根本 壮太郎(ねもと そうたろう)

法政大学大学院建設工学課程修了。一級建築士、宅地建物取引士。2003 年不動産会社勤務の傍ら、NPO 法人かながわ外国人すまいサポートセンターにて英語ボランティアスタッフとして従事。2006 年ジャパンハウジング株式会社を設立、現在、取締役会長。特に日本におけるインド人の生活様式について造詣が深い。

現地視察編 案内役プロフィール ※オンラインに変更



霧が丘インターナショナルコミュニティ Kirigaoka International Community

多くのインド人が住んでいる横浜市緑区霧が丘団地を拠点に、地域交流・自治会連携・外国人連携・学生連携の 4 つを軸に多文化共生が楽しめる街づくりを目指して活動しています。

Facebook <https://www.facebook.com/kirigaoka.kic/>

お申し込み方法

FAX またはメールにて、タイトルを「多文化共生フィールドワーク」として、氏名（ふりがな）、電話番号、メールアドレス、お住まいの自治体（市区町村のみ）、ご所属（任意）を明記の上、お申し込みください。

お申し込み先

【メール】 tabunkares@kifjp.org 【F A X】 045-620-0025

■詳細は <https://www.kifjp.org/general/tabunkafieldwork> からご覧いただけます。



←こちらからもお申込できます。

多文化共生フィールドワーク申込み	
希望のセミナー	座学編のみ / 座学編 現地視察編の両方
氏名（ふりがな）	
電話番号	
メールアドレス	
お住まいの自治体（市区町村名のみ）	
ご所属（任意）	

~~現地視察編の集合場所~~
~~（霧が丘郵便局前）~~

JR 横浜線十日市場駅
→（バス約 7 分）→バス停「郵便局前」
下車→徒歩 1 分